

令和4年3月14日

学校法人相愛学園

理事長 相 田 芳 久 殿

令和3年度

学校関係者評価委員会 活動報告書

学校関係者評価委員会  
代表 杉 本 清 美

- 1 幼稚園の教育理念** 建学の精神 『 あかるく こころゆたかに 』  
 教育目標
- 1 じょうぶなからだに
  - 2 いのちをたいせつに（思いやりのある子に）
  - 3 やる気のある子に
  - 4 よく考える子に

**2 本年度の重点目標**

- 幼児の育ちと照らし合わせながら振り返りをし、教育内容や環境構成の改善をしていく中で、幼児一人一人の育ちを丁寧に捉え心身の成長を促していく。
- コロナ禍という厳しい状況下での園生活ではあるが、幼児にとって意味のある生活ができるよう工夫して取り組んでいく。
- 対話的な話し合いを重ねながら、ベテランと若手が互いに教え合い学びあう時間を大切にしていくなかで、保育の質の向上を図っていく。

**3 自己評価結果について**

評価項目	自己評価	
	評価	取り組み状況及び反省
幼児の実態を踏まえクラス運営をしていく中で、集団における指導援助と共に、個に応じた指導・援助が考えられているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育日誌や個人記録を丁寧に記録し振り返りをすることで、毎日の援助や指導を見直していくよう心掛けた。</li> <li>・今年度、園内研修として遊びの事例を記録し、それを持ち寄り発表（伝え合い）の時間を設けた。全体、学年、教員の年代別等、グループを入れ替えながら行うことで、いろいろな意見が出たり積極的に話し合う姿勢が見られ有意義な時間を過ごすことができたと思うので引き続き取り組んでいきたい。</li> <li>・援助・指導が必要な幼児については、引き続き個別の指導計画を立案してサポートをしていった。ただ、関わるタイミングや方法が難しく、集団と個のバランスの取り方で苦労していた担任も多い。互いに相談し合ったり専門のカウンセラーに相談しアドバイスをいただいたりしたが、まだまだ集団 or 個のどちらかに偏ってしまったりする様子もあるので対応の工夫が必要である。</li> </ul>
コロナ禍の中で活動や行事を実施するにあたり、幼児にとって意味のある充実したものになるように配慮しているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年に引き続きコロナ禍での生活だったが、昨年度とは状況が異なるのでその都度対応策を考えながら進めていった。昨年度のように何もかも中止にしてしまうのではなく、その時期の感染状況や欠席状況等を踏まえ、できる範囲のことを検討し実施していった。また新しい取り組みを考え実施したことは、保護者の方にも好評だったので計画して良かったと思う。(Zoom・You tubu 分散登園…等)</li> </ul>

<p>コロナ禍の中で活動や行事を実施するにあたり、幼児にとって意味のある充実したものになるように配慮しているか</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・難しい状況の中、全体で行うこと・学年やクラス別に行うこと、それぞれに工夫して実施できたことは、幼児にとって経験の積み上げにも繋がり、自信がついた子どもが多かったようだ。</li> <li>・いろいろな形での計画だったが、保護者の方々のご理解があったからこそできたことかもしれないので感謝したい。</li> </ul>
<p>園内の施設・設備環境 防災対策・感染症対策等が、幼児が安心して生活できる施設設備環境となっているだろうか。</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セキュリティの徹底、学校保健安全計画に基づく防災避難訓練の定期実施や保健・衛生指導、食育まで、トータルな視野で子ども達の健やかな成長を守るための努力を怠らないよう努力してきた。</li> <li>・園内の遊具等は、日常的な目視や点検を行いながら安全に務めている。経年劣化の物については、計画的の整備を進め補修等に対応できるよう考えていきたい。遊具の点検管理の他、事故を未然に防げるような子ども自身の安全に対する意識を育てていきたい。(冬場は身体の動きが鈍くなりがちの為か怪我が少し増えて気になったので。)</li> <li>・月1回実施している避難訓練については、地震津波対応訓練や火災対応訓練等いろいろな場面を想定し訓練を積んでいる。</li> <li>・衛生面では養護教諭の指導のもと、教職員や保護者への情報伝達や対応等共通理解を図ってきた。</li> <li>・コロナウィルス対策として、「マスク着用」「室内換気」「手指消毒」等、昨年度より継続して行っている。</li> </ul>

## ☆協議・評価の観点

### 評価項目 1

クラス運営をしていく中で、集団における指導援助と個に応じた指導援助がバランス良く考えられているか。

### 評価項目 2

コロナ禍の中で活動や行事実施するにあたり、幼児にとって意味のある充実したものになるよう配慮しているか。

### 評価項目 3

園内の施設・設備環境・防災対策・感染症対策等が、幼児が安心して生活できる施設設備環境となっているだろうか。

#### 4 学校関係者評価委員会の評価・意見

##### 評価項目1 についての評価

- ・評価委員会当日、全クラスの保育の様子を参観させていただきましたが、どの年代においても子ども達が幼稚園生活を楽しんでいる様子を感じました。カリキュラムを踏まえクラス運営をしている様子が読み取れることから、教育の軸がしっかりしているので子ども達が年代ごと健やかに成長している姿が見られるのだと考えます。生活環境が様々な現代社会の中で育つ子ども達、対応が難しいこともあるかもしれませんが、集団と個をしっかり意識した上での指導援助ができるよう研鑽に努められることを期待します。

評価 : B

##### 評価項目2 についての評価

- ・コロナ禍ではありましたが、子ども達が楽しい経験ができるよう新しい取り組みを組み入れる等、園としての努力は評価します。次年度がどのような状況になるか不安はありますが、子ども達にとって有意義な園生活が送れるようより一層の努力を期待します。
- ・生活環境が様々な現代社会。個と集団をしっかり意識した上での適切な援助、その為の教職員間の連携等が、子どもに寄り添った保育に繋がっていくよう望みます。

評価 : A

##### 評価項目3 についての評価

- ・園内においては、セキュリティ、安全指導・管理、遊具点検等を通して、子ども達の安全な生活を保証するものとなっていることは、保護者にとっても安心材料の一つですので引き続き心掛けていきましょう。懸案の駐車場の問題ですが、子ども達の安全の為、また近隣にご迷惑が掛からないよう何かしらの対策を考えていくことを望みます。

評価 : A

令和 4 年 3 月 14 日

以上、学校関係者評価委員会全体の意見として、提出いたします。

令和3年度 焼津豊田幼稚園 学校関係者評価委員会

委員長 杉本清美

